



# みんなのあんしんファイル

保健事業に関するお問い合わせは、保健センター(TEL26-5670/FAX26-5660)

保健センターの場所は、伯耆しあわせの郷2階です。

## 健 母子保健スケジュール

種類	対象	日程	時間	場所	持参するもの	ご案内
6か月児健康診査	平成23年8月 生まれの乳児	3/8(木) 3/9(金)		保健センター		保護者に通知します。 ※当てはまる月の次の月まで案内しています。
1歳6か月児健康診査	平成22年8月 生まれの幼児	3/6(火) 3/7(水)	(受付時間) 13:00~13:20		・母子健康手帳 ・アンケート用紙	保護者に通知します。 ※1歳11か月までは受けることができます。
3歳児健康診査	平成21年2月 生まれの幼児	3/1(木) 3/2(金)				保護者に通知します。 ※3歳11か月までは受けることができます。
育児相談	市内在住の乳幼児	2/27(月)	9:30~11:30		・母子健康手帳	保健師・栄養士による個別相談
フッ素塗布	市内在住で希望する人	2/27(月)	9:30~11:30 13:30~15:30	中部歯科医師会 口腔衛生センター	・歯ブラシ ・母子健康手帳(子どものみ)	歯科診察はありません。
		2/25(土)	(受付時間) 13:30~15:30		・歯ブラシ ・コップ ・母子健康手帳(子どものみ)	歯科診察はありません。 ※要申込(申込先:口腔衛生センターTEL22-5472)
マタニティサロン	市内在住の妊婦とその家族 (母親・両親学級)	2/27(月)	9:30~11:30	保健センター		みんなで話ができる場です。
えっぐクラブ(母親・両親学級)		2/26(日)	10:00~12:00		・母子健康手帳	ママ・パパコース① ~おはなしコース~ (小児科医師の講演、個別相談、妊婦体験)

## 健 健康づくり

種類	対象	日程	時間	場所	ご案内
健康相談	市内在住で希望する人	2/24(金)	13:30~15:30	保健センター	栄養士・保健師による個別相談(食事・運動など健康について) ※要予約(予約先:保健センターTEL26-5670)

\*ご希望により血圧測定、体重測定、体脂肪率、内臓脂肪レベル測定ができます。相談日以外でも随時相談を受け付けています。

健 : 「倉吉健康ガイド」掲載事業。事業の対象年齢や料金などの詳細は、健康ガイドをご覧ください。

**インフルエンザ予防接種の助成**

インフルエンザ予防接種の助成対象期間は、2月29日(水)までです。

**【助成対象者】**

①インフルエンザ予防接種券・予防接種費用助成券を持っている人

②乳児(平成23年1月1日以降に生まれた乳児)

**【還付申請について】**

助成対象者のうち、生活保護請求窓口

③印かん

④振込み先のわかるもの(請求者名義の通帳)

⑤インフルエンザ予防接種済証(65歳以上の人)

請求期限…3月30日(金)



護世帯・市民税非課税世帯の人は、還付を受けることができます。

還付の必要な人は、手続きをしてください。

請求に必要なもの

①助成金請求書(保健センターにあります)

**献血にご協力ください**  
【全血献血】

とき	2月26日(日) 9:30~15:00
ところ	倉吉未来中心

問 鳥取県赤十字血液センター(TEL0857-24-8101)

## 休日急患診療機関

受付時間：午前8時～翌朝午前8時

実施日：日曜日・祝日

日程	内科	外科
2/11(土)	垣田病院	野島病院
2/12(日)	信生病院	厚生病院
2/19(日)	野島病院	清水病院
2/26(日)	藤井政雄記念病院	北岡病院
3/4(日)	厚生病院	野島病院



保健センター、または関金支所支所管理課

保健センター(☎26-56670 / FAX26-56660)

子ども予防接種週間

3月1日(木)～7日(水)は子ども予防接種週間です。

これは、予防接種に対する関心を高め、接種率の向上を図ることを目的として定められています。

予防接種は、子どもを感染症から守る大切なものです。また、社会全体を感染症の流行から守るという重要な役割があります。

この機会に、母子健康手帳を再度確認し、お子さんの受けていない予防接種があれば、接種しましょう。

保健センター(☎26-56670 / FAX26-56660)

特定不妊治療費助成金の申請はお早めに

倉吉市では、特定不妊治療費の一部を助成しています。平成23年度中に治療を受けた場合は、早めに申請してください。対象経費…体外受精および顕微授精に要した経費

助成額…1年度あたり10万円 ※鳥取県特定不妊治療費助成を受けている場合は、その不足分を10万円を限度に助成します。

申請期限…3月30日(金)

※治療の終了が、2月1日(水)～3月31日(土)の場合、5月31日(木)まで申請することができます。

保健センター(☎26-56670 / FAX26-56660)

こころの健康づくり講演会

眠れない、やる気が出ない、気持ちが沈む…。そんな症状に心当たりはありませんか。「うつ」は誰でも起こり得る心の不調です。

「うつ」の正しい知識や対処方法等、こころの健康づくりに関する講演会を開催します。一緒に考えてみませんか。

とき…3月1日(木)午後2時～3時30分(受付…午後1時30分)

ところ…倉吉交流プラザ視聴覚ホール  
講演…「こころの健康、気にしていますか？」  
講師…周防 孝さん(倉吉病院医師)

保健センター(☎26-56670 / FAX26-56660)

介護予防事業を紹介します

レッツ! 介護予防

2月の認知症の人と家族の会

「家族の集い」

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り合い、分かち合ったり、情報交換したり、何でも話し合える場です。気軽に参加してください。

倉吉会場 第3木曜日

とき：2月16日(木)午前10時～正午  
ところ：倉吉交流プラザ

関金会場 4月・7月・10月・1月の第1木曜日

☎長寿社会課(☎22-7851 / FAX22-2954)

2月ホッといきいき教室

～介護予防教室～

【とき】2月29日(水)午前10時30分～午後3時

【内容】午前：「高齢者のこころの健康について」  
午後：自由時間(脳トレクイズ、ニュースポーツ、健康相談など)

【ところ】グリーンスコーレせきがね

【参加料】1,300円(昼食・入浴料)

【募集条件】65歳以上で、介護認定を受けていない人 ※毎月、申し込みが必要です。

※送迎希望の場合は、開催日の1週間前までにご連絡ください。

☎長寿社会課(☎22-7851 / FAX22-2954)

広告募集申!! 倉吉市総合政策課 (☎22-8161 / FAX22-8144)

今月の福祉補聴器相談会

日時：2月22日(水) AM10:00～12:00  
相談会は、毎月第四水曜日です。  
場所：市役所東庁舎1階 福祉課 倉吉市福祉事務所

補聴器 聴力測定室 完備 点検・調整 いつでもOK 岩間眼鏡店

倉吉市鍛冶町 ショッピングセンターめいりん内 TEL0858-22-5551 営業時間 あさ9時～よる7時(木曜定休)

先の見えない時代の確かな実物資産

ウィーン金貨ハーモニー



ウィーン金貨はオーストリア造幣局が発行する法定通貨。

【1オンス金貨参考価格】  
税込小売価格 ¥160,463  
税込買取価格 ¥146,178  
(H23.9月1日の価格)

資産を小分けしやすく、小額投資に向いています。もちろん1枚ずつ売却することも可能です。

▲1オンス(31.1035g)直径37mm 厚さ2mm(純金製)  
金・プラチナのお求めは「田中貴金属工業」正規特約店、中井脩まで。

NAKAISHU 中井脩倉吉店 中井脩 検索  
倉吉市上井町1丁目220 TEL0858-26-4411

～有料広告募集中～

【大きさ】

- 1号：縦5cm×横18cm
- 2号：縦5cm×横9cm
- 3号：縦5cm×横6cm

【掲載料】

- 1号：30,000円/回
- 2号：15,000円/回
- 3号：10,000円/回





▲人権劇の一場面

# 自分たちの思いを豊かに伝え、広げる人権劇

## 小鴨小学校6年生人権劇の取り組みから

小鴨小学校では、毎年、6年生が人権学習の一環として人権劇に取り組んでいます。今回は、その様子を紹介します。

### 思いを伝えることの大切さ

学校生活の中で子どもたちは、クラスの仲間をはじめとするたくさんの人と関わりながら学びを深め、成長しています。

その中でもとりわけ、自分の考えや思いを相手に伝えたり、相手の考えや思いをしつかり受け止めたりすることは大変重要であり、人権教育の基盤になります。

お互いの考えや思いを伝え合うことで心がつながり、支え合い、高め合う仲間ができると考えます。その取り組みの一つが人権劇です。

### 自分の思いを仲間と共に表現する人権劇

本校では、10年以上前から6年生が人権劇に取り組んでいます。

テーマの一例を挙げると、部落差別に立ち向かった人々の生

き方に学ぶ

●地区進出学習会のはじまり

●洪染一撥

●教科書無償化の取り組み

これらに見られるように、6年生が人権学習で実際に出会った地域の人の生き方や、学習した教材を劇化するなど、内容は多岐にわたります。

劇化していく上で大切にしていることは、出会った人や、教材の中の人物の思いや願いに深く共感したり、強さや優しさを学び取ったりしていくということなのです。

さらに、学習の中で、子どもたち一人一人が感じた思いを一つにして人権劇に取り組むようにしています。

### みんなで創り上げる人権劇

人権劇は、まず台本作りからスタートします。観る人に何を訴えたいのか、そのためのセリフはどうすればいいのかを、子どもたちと担任が一

緒になって考えます。この台本作りを通して、伝えたい思いがさらに強いものになっていきます。

台本が出来上がり配役が決まると、一人一人が役作りに取り組みます。役になりきるためにはどんな気持ちでセリフを言えばいいのかを真剣に考えることで、その人物の思いに寄り添うことができます。

また、劇には欠かせない舞台背景や小道具も子どもたちが製作します。6年生全員でこれらの製作に取り組みことで協力がより高まります。

何度も練習を繰り返して臨む発表会当日、たくさんの方の前で緊張しながらも一所懸命に演じる子どもたちの姿は、観ている人の胸を打ちます。

みんなで人権劇を創り上げていく中で体験的に学んだことは、その後の学習や生活に深くつながっていく、子どもたちに変化が見られるようになりしました。

自分自身を見つめ、よりよい自分に変わっていくこうとする姿。生活の中での友達に対する言葉づかいや、決めつけなどの問題をみんなで真剣に話し合い解決していくこうとする姿。友達の頑張りや成長に気づき、それ

をみんなで認め合う姿。

人権劇の取り組みを通して高まった6年生の姿は、学校行事や縦割り活動などのさまざまな場面において、これまで以上に最高学年としての自覚を持ち、仲間と協力しながら、一所懸命に活動する姿として表れています。

そして、この6年生の姿が下級生へと受け継がれていくのです。

部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会 2011年度学習会

シンポジウム

「インターネット上の差別と人権を考える」

【とき】2月22日(水)午後1時30分～4時

【ところ】倉吉未来中心 小ホール

【パネリスト】

北口 末廣さん(近畿大学教授)

山崎 鈴子さん(部落解放同盟愛知県連合会書記次長)ほか

※入場無料。誰でも参加できます。

☎人権政策課(☎22-8130 / ☎22-8135)





## 「ポジャギ」 韓国のパッチワーク

じゃんけんぽん！

この合言葉で始まる「じゃんけん」は、韓国をはじめ、多くの国で、簡単なゲームとして行われています。日本では、グー(石)、チョキ(ハサミ)、パー(紙)といい、英語圏では、ロック(岩)、ペーパー(紙)、シザーズ(ハサミ)といいます。韓国ではどうかというと、カウイ(ハサミ)、パウイ(岩)、ポー(風呂敷)といいます。ポーは紙ではなく、風呂敷を意味する「ポジャギ」からきており、紙と同じように、ハサミには切られてしまうけど、石や岩には包んで勝つとされています。紙ではなく風呂敷が用いられたのは、風呂敷が韓

国人の実生活に深く関わっているからだと思えます。

日本でも、物を包む時に風呂敷をよく使い、良い生地できものや美しく染色されているものなどもあり、昔から重宝されていると聞きました。

韓国では、物を包む時にもよく使いますが、昔は、障子のような窓の内側にかけてカーテン代わりにしたり、準備した食事を食べるまで、ほこりなどが入らないようお膳にかけたりしました。今では、壁の装飾やテーブルセンターなどとしても使われ、正方形だけでなく、長方形や細長いものなど、いろいろあります。

日本の風呂敷は、一枚の生地を染めたものが多いですが、韓国は、刺しゅうで絵柄を施したり、さまざまな生地を縫い合わせたものが多いです。この色んな生地を縫い合わせたものを「チョガッポ」といいます。

チョガッポは、もともと布団や服を作った後の余った生地を捨てずに活用したもので、庶民の節約精神から生まれたものですが、近年は、モンドリアンの空間分割の抽象絵画のような美しさと色彩

で、日本をはじめ、諸外国から注目を浴びています。

チョガッポの生地は、主に絹やカラムシの切れ端です。デザインは、主体となる色を2〜3種類にまとめて色調に統一感を出し、各色の濃淡の布をいくつか使って、きれいなカラーバリエーションを出します。縫い方は、裏地を当てる場合は、巻きかがり縫い、裏地を当てない場合は、サムソルという縫い方で、両表になるよう仕上げます。

このチョガッポ作り体験ができる「ポジャギ教室」を今月の26日(日)に開催します。皆さん、韓国のポジャギを作って見ませんか。



▲抽象絵画のようなチョガッポ

●今月の一言●  
「가위 바위 보!」  
「가위 바위 보!」  
「じゃんけんぽん! あいこでしょ!」

## 鳥取短期大学

キャンパス  
だより 193

### 「短大を語る会」を開催しました。

「地域の発展に貢献する人材を育成する」という本学の建学の精神に基づき、地域のニーズ・要望を直接聞き、地域と共に歩む大学づくりに活かすことを趣旨として、昨年12月に「短大を語る会」を設立しました。

会のメンバーは、「鳥取短期大学と地域の発展を推進する会」の構成員のうち、倉吉商工会議所青年部、同女性会、上井商工連盟、新日本海新聞社、NPO法人未来からそれぞれ1人、本学からは松島文子地域交流センター長をはじめ、4人の教員と、事務局を担当する地域交流センター

職員の計10人が選任されました。

12月5日(月)、学長、事務局長、総務部長も加わり、第1回の会合を本学にて開催しました。まずは本学を知ってもらうために、本学の概要や各学科・専攻について映像を交えながら紹介し、その後意見交換を行いました。未来を見据えた人材育成やモチベーション教育の重要性、個性や魅力ある生き生きした大学、ネットワークづくりなど、さまざまな視点からの意見や質問が出され、意義深い会となりました。

今後も、「地域と共にある短大づくり」のために知恵を出し合い、会を重ねていきたいと考えています。



「短大を語る会」の様子

### 地域交流センターをご利用ください

本学には、地域と大学をつなぐ窓口として、地域交流センターがあります。

産学官の連携に関すること、民間団体との交流やイベントなどの企画・実施、大学見学会、公開講座やセミナーの実施、受託研究の受入れ、各種講演会講師の紹介、学生ボランティア相談窓口など、地域の皆さんからのご要望や、大学施設の利用および地域交流に関するご相談なども受け付けています。本学の教職員や学生の人的資源、また研究や教育の資源を活用できるよう、可能な限り対応しています。

どうぞご利用ください。

鳥取短期大学地域交流センター(☎26-9171)

